

台風早期の注意喚起

台風1号を巡る政府や各機関の対応

8日 午後	首相官邸の危機管理センターに情報連絡室を設置 武田防災相が関係省庁による災害警戒会議を開催
9日 午後	気象庁が1回目の記者会見
10日 午前	JR東が計画運休の可能性を発表
11日 午前	JR東が計画運休の実施と詳細な時間・路線を発表 気象庁が2回目の記者会見
午後	2回目の災害警戒会議を開催 安倍首相が関係閣僚会議で「先手先手の対策」を指示 東京管区気象台と関東地方整備局が初の共同記者会見 品川区が区内5か所に避難所を開設

関東では過去、台風の襲来で海の潮位が上がる「高潮」や河川の氾濫が起き、広い地域で浸水被害に見舞われることがあった。20世紀半ばに護岸や堤防の整備が進んだが、専門家は台風19号でも同様の浸水被害が生じる恐れがあると指摘する。

関東 過去に広域浸水

◆関東に被害をもたらした主な台風

		特徴・被害	
1917年 9～10月	台風 (名称なし)	東京湾岸で高潮が発生し、住宅地が浸水。 死者・行方不明者1300人超	
47年 9月	カスリーン 台風	大雨で利根川と荒川の堤防が決壊し、埼玉県や東京都で家屋が浸水。群馬県、栃木県では土石流や河川の氾濫も。死者・行方不明者1930人	
58年 9月	狩野川 台風	大雨で静岡県の狩野川が氾濫。神奈川県や東京都でも市街地の浸水や造成地の崖崩れが発生。死者・行方不明者1269人	
2019年 9月	台風15号	千葉市で観測史上1位の最大瞬間風速57.5m/sを記録するなど各地で暴風。千葉県を中心に最大約93万軒が停電し、住宅の損壊や断水も起きた	

※気象庁資料などを基に作成

した1日あたりの降水量
年9月26日)は5371.9ミリ
に達し、これまで最も多い
国土交通省などによると、
17年(大正6年)9~10月の
台風では、東京湾岸で高潮に
による住宅地の浸水があり、都
内を中心に戦死者が1300人
を超えた。47年9月のカブ
リーン台風では、秋雨前線による
大雨で利根川や荒川の堤防が決壊するなどして、死者
・行方不明者が1930人に上つた。

高い満潮に台風が来ると、大正6年被害が起きかねます。気象庁は12日けて関東一帯をし、「河川の上も大雨が続く恐怕懸念する。
二瓶泰雄・東(河川工学)は、
る関東平野では、
に流入する支流
れ、周辺流域の

い満潮に台風の通過が重なると、大正6年の台風と似た害が起きかねない」と警告する。

スキャナ
SCANNER

千葉被害教訓 首都圏で準備

一市民生活への甚大な影響が予想される。迅速かつ分かりやすい情報発信を徹底し、台風15号の経験も踏まえ、先手先手の対策を講議で関係閣僚と政府はどのようにとの批判

は台風15号のときに
京会議を開かず、野
から「初動が遅れた」
を招いた。今回、
じい）。安倍首相は
開かれた関係閣僚会
こう指示した。

■ 東電も対応
JR東日本の計画運休の判断も早く、実施可能性の公表は最接近の2日前以上前に10日前のことだった。

交省幹部は「早い対応で滞留を防ぎたい」としている。国東京電力は関連企業と合わせ、台風15号時の7倍に相当する約1万7000人態勢で対応に当たる。15号

■正常性バイアス

人もいるが、被災経験がない人は正常性バイアスのため避難しない可能性もある。台風19号は想像を超える被害が出る恐れがあり、早い段階で避難行動を取るべきだ」と指摘している。

過去最強クラスの台風19号が12日夕方にも東日本を直撃する可能性が高まつた。千葉県に甚大な被害をもたらした9月の台風15号での反省や教訓を踏まえ、首都圏では早めの対応が進んでいる。

(社会部 坂場香織、政治部 松浩一郎、本文記事1面) 重



土のうを作る東京都葛飾区の職員ら（11日）

気象庁会見異例の3日前

昨年9月の台風24号では、計画運休の公表が実施当日の屋となって混乱を招いたため、先月の台風15号では公表を前日に前倒し。今回

の大規模停電では当初示された復旧見通しが先送りされ、強い批判を受けた。「迅速な情報把握に努め、被害確認のためドローンを飛ば

大半は西日本に上陸している。また、「非常に強い」勢力の台風が本州に上陸すれば初になるという。昨秋の台風21号が上陸したのは

能相撲、國立競技場はにに次ぎ横浜1時計

はさらに早め、実施路線や時間など詳細な運休計画も1日前に発表した。

台風15号では成田空港に接続する鉄道やバスの多くが運休するなか、到着便は次々と着陸したため空港内に1万人超が滞留する事態に陥った。国土交通省などは今回、成田、羽田両空港が離着陸可能になつても、鉄道やバスが動かなければ着陸を制限する考えだ。国土交通省幹部は「早い対応で滞留を防ぎたい」としている。

東京電力は関連企業と合わせ、台風15号時の7倍に相当する約1万7000人を避難勢で対応に当たる。15号に達しこそ、国土交通省による住宅地内を中心に入れ超えたリーン台風による大雨で防が決壊し、行方不明者が発生。死者・行方不明者1269人

千葉市で観測史上1位の最大瞬間風速57.5mを記録するなど各地で暴風。千葉県を中心に最大約93万軒が停電し、住宅の損壊や断水も起きた

※気象庁資料などを基に作成

「態勢も整えている」（広報）という。首都圏でも避難所開設や工のう設置の動きが広がっている。東京都品川区では日夕、区立学校などかに自主避難所を開設。台風15号では大雨・暴風警報発令後に避難所を開いたが、千葉県で想定を上回る被害が出たため、早めの開設に踏み切ったという。

15号の被害は記憶に新しいが、首都圏の多くの人が大きな台風災害を経験しないため、危険が迫つたのに「自分は大丈夫」といふのが止める心理状態「正常バイアス」が働く恐れがある。東京女子大の広瀬弘名譽教授(災害リスク学)は「15号の影響で水や食料確保などの備えを進めるもいるが、被災経験がない人は正常性バイアスのため避難しない可能性もある」と。台風19号は想像を超える被害が出る恐れがあり、「一段階で避難行動を取るべきだ」と指摘している。